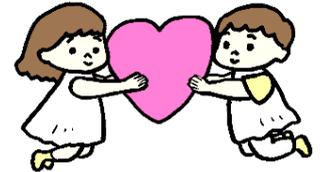


# 御田小 研究だより

御田小学校では、今年度「自分も大切 みんなも大切 ～自他のよさや考えを認め、主体的に自分の考えを伝える児童の育成～」をテーマに校内を行っています。

## 低学年の目指す児童像

- ★自分のよさや友達のよさに気付く児童
- ★進んで自分の考えを伝えようとする児童



## 第1回 研究授業報告

10月4日(水) 2年2組 授業者 唐澤 純也  
体育科 「投の運動遊び『投げ投げランド』」

### 【授業のねらい】

○友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを伝えている。

### 【授業の工夫】



### 一人一人のよさを引き出す工夫

運動した中で気付いた動きのコツや発見は、トリオで話し合ったり、ワークシートに記入したりしながら、理解につなげました。また児童の気付きは共有ボードにまとめ、可視化しました。

### 関わり合わせるための工夫

3人組のトリオを組み、運動しました。投げる活動に没頭しながら、友達のよい動きを見付けたり、投げ方を教え合ったりする姿が見られました。



### 学びの実感をもたせる工夫

遠くの的に向かって投げたり、カ一杯段ボールにぶついたりする4つの場を設定しました。授業では、児童が紅白玉等、自分で投げたい物や場を選び、活動しました。

一人一人の投げる時間を十分に確保したことで活動を楽しむことができました。

### 〈授業を終えて〉

今回の「投げ投げランド」では、新体力テスト時のソフトボール投げ等に見られる児童の遠投能力向上を目的に行いました。低学年の体育科の指導では、技能の教え込みでなく、「運動遊び」を通して運動に親しんだり、楽しんだりしながら自然と技能を身に付けさせていきます。その中で今回は3人組のトリオを組み、友達の動きのよいところを真似たり教えてもらったりしながらさらなる技能向上を目指しました。

授業後に行った教員の協議会では、主に①自他のよさとは②体育の授業作りの方法等について学びを深めました。自尊感情を高める指導の大切さを改めて実感し、今後の指導に役立てて参ります。